

とねがわかこうぜき
「利根川河口堰大規模地震対策事業着手式」を開催します

独立行政法人水資源機構では、国土交通大臣から独立行政法人水資源機構法に基づく事業実施計画の認可を受け、令和6年度から「利根川河口堰大規模地震対策事業」に着手しています。

このたび、利根川河口堰大規模地震対策事業の事業化に当たり、ご支援ご協力を頂いた関係者の皆様をお招きし、事業の順調な進捗と安全を祈念するため、下記のとおり「利根川河口堰大規模地震対策事業着手式」を開催しますのでお知らせします。

記

日 時：令和6年12月7日（土） 11時30分～13時00分（1時間30分程度を予定）

場 所：東庄町公民館（千葉県香取郡東庄町笹川い4713-131）

※別紙 式典会場案内図参照

主 催：独立行政法人水資源機構

招 待 者：国会議員、経済産業省、国土交通省、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神栖市、
銚子市、東庄町、地元関係者等 約100名

次 第：主催者挨拶、来賓挨拶、来賓紹介、祝電紹介、事業概要説明、セレモニー（くす玉開披）等

当日 一般の方は参加できません。

令和6年11月27日



みずしげんきこう
独立行政法人水資源機構
利根川下流総合管理所

発表記者クラブ

経済産業記者会、国土交通記者会、埼玉県政記者クラブ、都庁記者クラブ、水資源記者クラブ、
竹芝記者クラブ、鹿島記者クラブ、香取記者クラブ、銚子記者会、千葉県政記者会

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 利根川下流総合管理所 総務課長 やまだ 山田

住 所：茨城県稲敷市上之島3112

電 話：0299（79）3311

取材に当たってのお願い

1. 取材の申込み

式典の取材・撮影を希望される方は次の事項を記載してメールにて12月2日（月）12時までに事前申込みをお願いします。

件 名：【取材申込】利根川河口堰大規模地震対策事業着手式

本 文： ・報道機関名

- ・取材をされる代表者氏名（ふりがな）
- ・取材人数
- ・当日の車両情報（車種、色、ナンバー）
※各社原則1台限りとさせていただきます。
- ・駐車票の送付先
- ・当日の連絡先（携帯電話）

送付先：利根川下流総合管理所 総務課
(jwa_tonekaryu@water.go.jp)

※ メールに記載されている情報は、本目的以外には使用しません。

2. 式典会場への来訪と受付

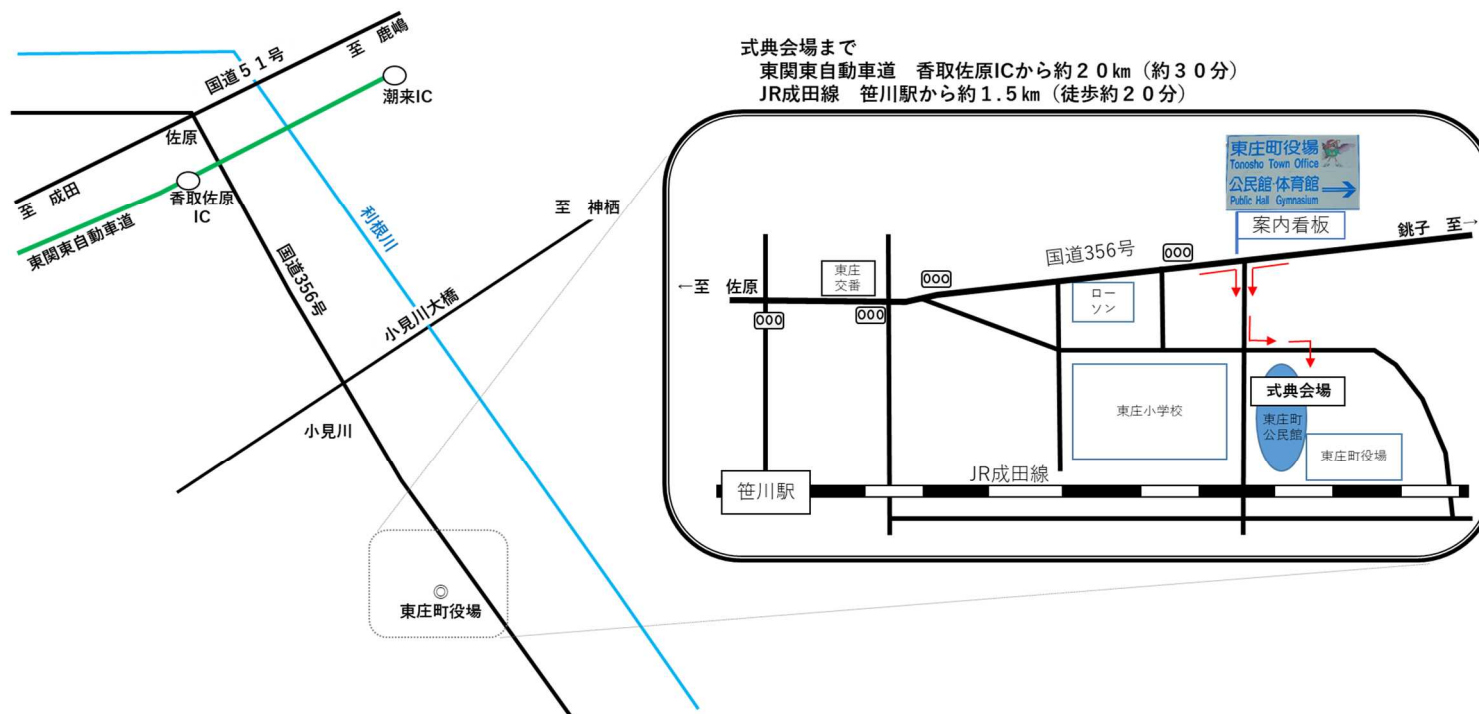
- ① 取材申込みされた報道機関の方には、別途「駐車票」を郵送しますので、車両にて式典会場に来訪される際、外から見えるようダッシュボードに配置してください。
- ② 駐車位置は会場内係員の誘導に従って駐車をお願いします。
- ③ 式典会場の報道関係者受付にて名刺の提出をお願いします。

3. 式典の取材

- ① 式典会場内では、主催者の誘導、指示に従っていただき、式典の進行等の妨げにならないようご協力をお願いします。
- ② 式典に参列される方々に認知いただくとともに、警備の都合上、取材社が分かるよう取材社証（腕章）の着用をお願いします。
- ③ 式典開始前の招待者への取材はご遠慮ください。

別紙

式典会場 案内図



東庄町公民館 千葉県香取郡東庄町笹川い4713-131

■ 利根川河口堰及び黒部川水門は、管理開始した1971年から50年以上にわたり、東京都、千葉県及び埼玉県に必要な用水を安定的に供給できるように、また、洪水や塩害から利根川下流地域を守ってきました。



施設の概要及び目的

事業主体：独立行政法人水資源機構

完成年：昭和46(1971)年

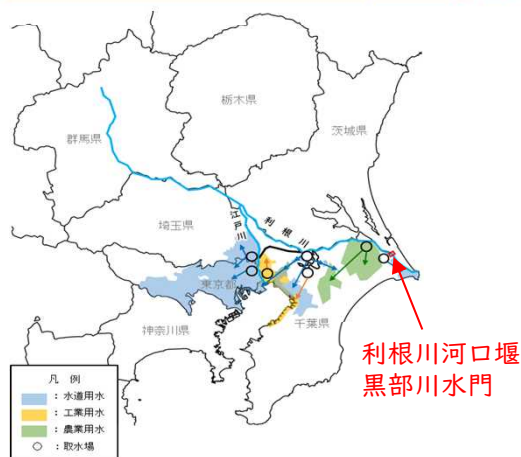
施設諸元：(利根川河口堰) (黒部川水門)
 総延長 834m 総延長 55.4m
 制水ゲート 7門 制水ゲート 2門
 調節ゲート 2門 開門ゲート 2門
 開門ゲート 2門
 魚道 2箇所

<目的>

- ・水道用水、工業用水及び農業用水の供給
- ・塩害防除等
- ・黒部川流域の洪水の防御



施設建設前に塩害を受けていた地域と被害の様子(写真は昭和33年当時)



開発された用水の供給地域と利用状況

地域の発展に貢献する利根川河口堰



家庭において利用されている水道用水



臨海工業地帯における製鉄所の冷却水

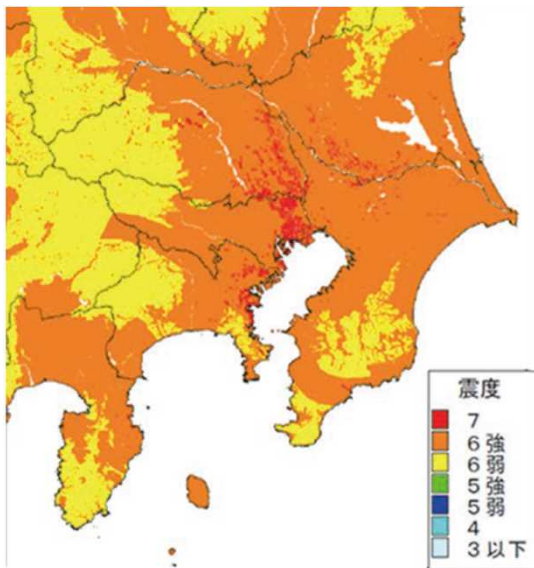


北総東部用水を利用したヤマトイモへの灌水

利根川河口堰で開発された用水により、地域の発展に貢献しています

- 耐震性能照査の結果、大規模地震に対する耐震性能の不足が判明し、今後予測される首都直下地震等、大規模地震時の施設損壊が懸念されています。
- 大規模地震発生時にも用水を安定供給できるように、また、洪水や塩害から利根川下流地域を守るべく、門柱、ゲート設備等の耐震補強及び設備更新等を行う、大規模地震対策事業を実施します。

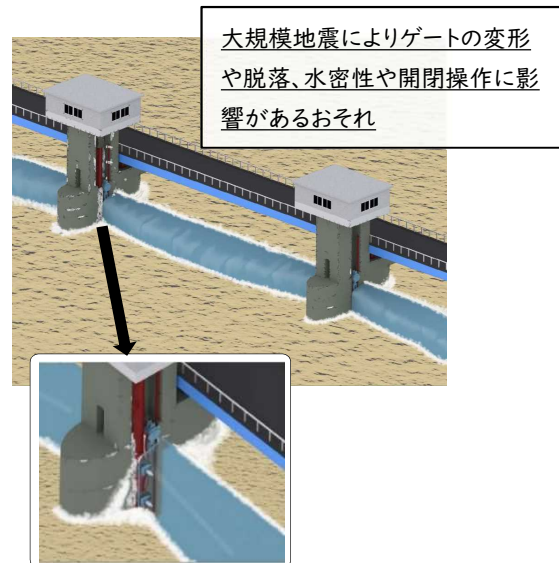
【首都直下地震の震度分布】



首都直下地震はマグニチュード7程度で、30年以内の発生確率は70%程度と予測されています

出典：首都直下のM7クラスの地震及び相模トラフ沿いのM8クラスの地震等の震源断層モデルと震度分布・津波高等に関する報告書（内閣府）

【大規模地震発生時の被災イメージ】



破損部分からの塩分遡上により、都市用水や農業用水の安定的な取水に影響が及ぶおそれ

【事業内容】

事業目的：利根川河口堰本体、黒部川水門及び附帯施設の大規模地震対策

事業箇所：千葉県香取郡東庄町及び茨城県神栖市

総事業費：約550億円

事業期間：令和6年度～令和20年度

実施内容：ゲート扉体の取替、門柱の耐震補強、管理橋の耐震補強、下流護床の復旧、開閉装置更新、操作室上屋更新 他

